

経営体の概要

- ・所在地：岩手県北上市
- ・経営体名：(株)西部開発農産
- ・生産規模（平成29年）
栽培作物・作付面積：895ha
（水稻260ha、大豆275ha、小麦160ha、そば145ha、野菜類4.9ha）
飼養頭数：和牛肥育140頭、和牛繁殖90頭
- ・従業員数：120名（平成29年12月現在）

導入技術

（平成26年度導入）

- facefarm生産履歴(ソリマチ(株))
栽培管理

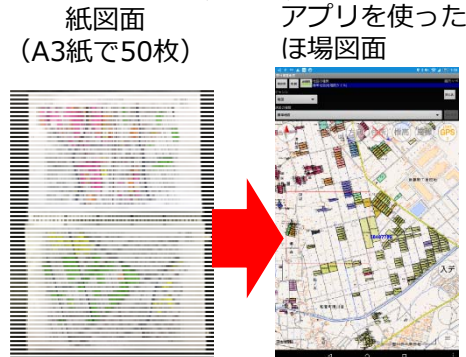
（平成28年度導入）

- X25自動操舵システム((株)トポコン)
GNSSガイダンスを利用したトラクタの自動操舵運転
- QGIS(フリーソフト)
農地管理

自動操舵システム
（トラクタキャビン内）



農地管理は、紙図面から
スマホ・タブレットへ



導入の効果

- 自動操舵システムの導入による作業効率の改善
 - ・ 耕起・播種作業等の重ね合わせ減少による作業効率、精度の向上
 - ・ 肥料・種子の節約、燃料費の削減
 - ・ オペレータの作業疲労軽減
- ほ場管理システムの導入による作業効率の改善
 - ・ スマホ・タブレットの位置情報により、経験年数の少ない従業員でもほ場の位置を正確に把握
 - ・ 現場での栽培管理情報検索、生産情報入力による作業効率化

今後のICT活用について

- GISの積極的な活用
 - ・ ほ場ごとの収量マップの作成
 - ・ 葉色マップの収集・分析と施肥コントロール
- タブレットを活用した農業技術(各種作業)の蓄積と情報共有
 - ・ 各種作業の工程動画作成
 - ・ 各種作業機械の始業前点検、操作方法の動画作成
- コスト削減の具体的な目標の設定
 - ・ 目に見えにくい労務費の見える化
 - ・ 小区画ほ場と大区画ほ場の効率の差を検証